

# 市長とのかがやきライフトーク

と き：平成24年2月24日（金） 19：30～21：00

ところ：牧田支所

団 体：上石津まちづくり協議会 14名

## 【団体】

4月にまちづくり協議会を立ち上げて、会議場所は上石津4地区持ち回りで、本日は牧田地区で行うことになりました。まちづくり協議会では、先日は郡上市に視察に行き、獣害対策等を勉強し参考になりました。まだ、設立して一年も経っておりませんが、今日は各4地区の取り組みとその後個別にトークをしたいと思います。よろしくお願いします。



## 【団体】

去年は、九里半歴史文化回廊で市長さんとトークをさせていただきましたが、今回はまちづくり協議会の一員として参加させていただいております。上石津には4つの地区があつて別々に活動はしていますが、上石津町ひとつでなにか同じことができないかと協議会を立ち上げました。今日牧田小学校の6年生を送る会に出席しましたが、小学生は本当にすごい夢を持っています。ぜひ、牧田地区にその夢をおいて行ってほしい、ずっと牧田で暮らしてほしいと思いました。若者が住めるように支援するのも私たちの役割だと思っています。牧田地区のまちづくりの一環として、小学生にはまちづくりに関する作文を書いてもらい、中学生にはワークショップを行って、牧田マップの見直しをしています。牧田地区の良いところを見直し、子供が育つ魅力あるまちづくりを行えるといいです。子供がいるというのは地域に活気ができるため、子供の支援として、高校に通うバスの整備をしてもらえるといいですね。

## 【市長】

この地で育って出て行ってしまふのは、さみしいですね。昔は中心市街地も



人通りが多くて、多良行きや時行きのバスが何本も走っていて、駅通りは人と人の肩がぶつかり合うぐらいでした。現在は、駅の北側に大きなショッピングセンターもできたため、なかなか古くからの商店街は難しいですね。地域で働ける場所があって地域で活躍していただけるといいですね。上石津にも働ける場所があるといいと思います。

観光だけではなかなか地域は発展していきません。山口県の萩の町がそうですね。観光都市としては、年間たくさんの方が萩の町を訪れますが、産業がないため若者がどんどん他の都市にでていき、現在は人口8万人ぐらいになりました。地元で産業を根付かせて、企業を定着させることが大切ですね。そうすると、地元でたくさんの方が働くことができます。

また、公共バスの利用がどんどん減っていますね。バス会社も採算があわないと行政が補助して、補助がなくなると撤退してしまいます。今は車社会ですので、バスの利用が減り本数が減ってさらに利用が減るという悪循環です。コミュニティバスも走らせていますが、利用率はいまひとつなんですよね。

#### 【団体】

高齢者が多くて、車にも乗れない場合買い物に行くにも困っています。昔のように町から売りにきていただけるといいです。郡上市に視察に行ったときも、地区にバスを提供して、運転手は地元の方でバスを走らせているという話も聞きました。そのようなことも考えてもらえるとありがたいです。

#### 【市長】

少子高齢化のため、女性も働かないと今の時代豊さを維持できないので働いてもらえる社会を目指して、子育て支援を行っています。

#### 【団体】

高校まで医療費が無料になるため、ありがたいです。

#### 【市長】

若い子育て世代の方が大垣に住んで、子育てしてもらいのを期待しています。地元で一生懸命子育てしても、卒業すると東京に行ってしまう。東京都も少子化には違いないのですが、危機感はありません。地方で育ち大きな

って、東京で働き、税金を東京で納めるというのが多いですね。

#### 【団体】

新聞にも掲載されたのですが、去年の9月に立命館の学生が時地区の水力発電などを学習し研究するため、3泊4日実施調査にきました。上石津の時地区では大正時代に水力発電を行



い、昭和50年まで続いていました。冊子にまとめて地域で発表をしてくれたり、卒業してもこの上石津とかかわりあいたいと言ってきて、うれしかったです。川があって緑があってとてもきれいなところだと言っていましたね。そのときは空き家対策の一環で、空き家を学生に提供しました。学生も20人ぐらいました。昔からの人だけでなく、外からの人も上石津を気に入って、住んでもらえるといいと思います。最近、東北で災害も起きたため地元に戻ったり、新しく別の場所に引っ越す人もいると聞きます。

#### 【市長】

上石津は大垣市の中でも、よく新聞記事に取り上げられます。空き家対策や九里半街道など話題性がありますね。空き家は、上石津だけではなくて旧大垣の町中でもみられます。家が空いてきているというさみしい状態です。そういう意味で学生に利用してもらうのはいいです。大正時代に水力発電とは、先見の明がありますね。ただ、火力発電や原子力発電のほうが効率が高く大量発電のためコストが安いので、現在はそちらが主流ですが。

#### 【団体】

時の昔のお菓子を復活させようとして、教えていただいて作っています。生姜と砂糖を煮詰めたお菓子です。昔懐かしらしく高齢者の方には喜ばれません。販売というまでは難しいですが、何かのイベントのときに作ると思います。

#### 【団体】

元気はつつ市で、販売するといいじゃないですか。

#### 【団体】

先日、日本赤十字で皇居の清掃活動に参加しました。天皇家はとても質素な

暮らしで皇居の中も緑が多く、とても自然を大切にしてみえると思いました。昔の先祖から伝えられてきたことを若い人たちに伝えていくことが私たちの役目ではないかと思います。上石津の場合は、4つの地域に婦人団体がなくなってきました。人とのつながりは大切だと思います。隣近所のつきあいも昔より薄くなっています。

#### 【市長】

自然は本当に大切です。高齢化が進むからと言って、なんでも弱気になるといけないので、前向きにがんばることが必要だと思います。ただ、日本は世界に比べてチームワークはいいと思います。大震災が起きたときも、みんなが体育館の中で集団生活を秩序正しく行っていました。聖徳太子の和の精神でしょうか。文化風土の中で協調性を大切にしている国民性だと思います。

#### 【団体】

長範味噌を復活しようと味噌作りをしています。地元の大豆を使って、白和えや甘酒などを作ってPRしています。ぜひ、特産品販売としてPRしていただけるとありがたいです。

#### 【団体】

牧田で遊び塾というのを行っています。子供達を集めて地域のボランティアの人達で自然を使った昔ながらの遊びをします。子供たちは自然で遊んだ経験が少ないため、谷川などでアユをつかまえたりしているところを見ると子供たちの目が輝いています。

#### 【市長】

学校を週休5日制にしたのも、自然体験や社会体験を子供達に行ってもらおうとするためだったのですが、それがみんな学習塾に通っていますね。

#### 【団体】

地域で女性の力が大切だと思います。女性が楽しめることにより地域も活性化するのではないかと思います。女性の力で上石津を元気ある町にしたいです。上石津で育てばいい風に育つ、ここは子育てにすばらしいと有名になれば、上石津に移り住む人もでてくると思います。上石津から出て行かないようにということもいいのですが、呼び寄せるようにする方がいいのではないのでしょうか。また、健康ブームにのって、上石津に住めば健康を保てるというようにPRするといいと思います。

【市長】

女性のパワーはすごいですね。女性が楽しめるまちづくりをすると活気がでます。

【団体】

平成11年から農業委員として活動してますが、ここ最近やっと獣害で困っているという認識を、みなさんにしてもらったかなと喜んでます。若い人に上石津に住んでもらおうと思うと獣害対策をなんとかしないとイケません。24年度予算でモデル地域として募集があったため、今、市の農林課を通じて申請中です。郡上市にも視察に行きましたが、動物も学習していくので、どの方法でも完全なものはないですね。あと、猟師の方も高齢化してやめていき、また捕獲する魅力がないことも大きいです。捕獲する人の支援も必要です。また、鹿の肉も人間が食べるとなると牛などの家畜と競争しないとイケませんので、難しいです。それで私は鹿の肉をペットの飼料として開発するといいと思います。市のほうで一緒に研究開発してもらいたいです。その他、鹿との交通事故も問題です。

【団体】

広報誌に連絡事項や案内ばかりでなく、もっと上石津の取り組んでいることをのせてほしいです。雑誌風にのせてほしいです。大垣市の広報というと文字ばかりのイメージです。

【団体】

老夫婦ばかりなので、これ以上過疎化が進まないようにしてほしいです。

【団体】

最近では田んぼをやっている方も少ないので、排水路の掃除ができません。今の子供達も勉強ばかりですね。親の姿を見て子供は育つといいますから、いろいろ田んぼに連れて行ったりして経験させるのがいいと思います。上石津の緑の村を使って、街の子供と交流できるようにするといいです。



【団体】

上石津の木をもっと大垣市内で使ってもらおうといいです。駅通りに上石津の木を使ってPRしてもらいたいです。

【市長】

上石津は緑があり花があるので、里山地域としていいところですよ。ペレットなんかもありますし、地産地消を拡大していくことが大切です。高齢化問題も上石津だけでなく、旧大垣市内や全国的な問題ですが、ぜひ上石津にとどまっていたきたいです。大垣の産業は岐阜の他の町と違って、本社が大垣にあるというのが強みです。獣害の話も聞いております。農業ビジョンの中で考えていかなければなりません。みなさんのご協力をいただき、また要望にも答えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。